



馬の学校

馬の学校通信

2010. 9 vol.39

発行 馬の学校

事務局 〒409-0115 山梨県上野原市松留 645 ハイム上野原 206 TEL/FAX:0554-63-5534

E-mail : mine@horseschol.org ホームページ : http://www.horseschool.org



秋のプログラム 参加者募集！！

ファミリープログラム (日帰り)

日 程 : 11月20日 (土) 午前10時半~午後4時 *小雨決行
 場 所 : ホーストレッキングわち (京都府船井郡京丹波町出野小字カジロ)
 対 象 : 幼・小・中・高校生のお子さんとそのご家族 (定員3家族)
 参加費 : 1家族 ¥15,000 / 1回 (現地集合・解散)
 別途 食費 1人 ¥500

馬とのふれあいプログラム (約2時間)

日 程 : 11月13日 (土) / 11月21日 (日) / 12月4日 (土)
 午前 10~12時 *雨天決行
 場 所 : 服部緑地乗馬センター (豊中市服部緑地1-5)
 対 象 : 小・中・高校生 (定員4名) *原則として保護者同伴
 参加費 : 1人 ¥8,000 / 1回 (現地集合・解散)
 *ふれあいプログラムはボランティアがマンツーマンでサポートします
 ★お申し込みは、会員の皆様は9月26日 (日) から、一般の方は28日 (火) から、電話 (090-9867-5611) にて事務局まで。
 *今回は上記電話番号での受付となっております、Fax・メールでの受付は行っておりません。ご了承ください。
 *留守番電話になっている場合は、お名前・ご希望のプログラム名をお伝えください。折り返し、こちらからご連絡いたします。

お知らせ (1)

「治療的乗馬」研究集会2010 (第6回)

日 程 : 2010年11月6日 (土)・7日 (日)
 場 所 : オリンピック記念青少年総合センター (東京)
 テーマ : クライアントのニーズと活動プログラムの設計
 内 容 : 実践および研究報告と協議・記念公演
 詳しくは日本治療的乗馬協会 HP をご覧ください
<http://www.itranet.jp/>

夏のプログラム 活動報告

ウマキャンプ (8/17~20)



朝早くからのブラシかけ



鞍もつけました



横向きにも乗れたよ!



フリーに挑戦中



夏恒例の草集め



たくさん飲むねえ・・・



ポニーの散歩もしました



記念撮影です

馬と遊ぼう (7/30)

大阪YMCA 表現・コミュニケーション学科



暑い中でのブラシかけ



協力してのエサ作り



お知らせ (2)



ミルクィです
よろしくね♪



この7月、「ミルクィ」が馬の学校の仲間入りをしました。ハフリンガーというオーストリア原産の品種ですが、ミルクィはドイツ生まれ。10歳のオスです。子どもたちが夜空を見上げた時、そっと行く道を照らしてくれるような、そんな存在になってほしいという願いから、(天の川: milky way の)「ミルクィ」と名付けました。

もともとは馬車を引いていたとのことですが、縁あって出逢い、今は小須田牧場で過ごしています。外乗ではちょっとしたことでは驚かず、身体的な安定感もあるので、とても安心して乗ることができます。またウマキャンプではブラシがけや乗馬で活躍しました。これから、子どもたちと一緒にいろいろなことに挑戦していくことができればと思います。

馬の行動 (1) フレーメン

みなさんは馬のそばにいるときに、馬が自分の上の唇^{くちびる}をあげて、まるで「嫌いだよ、イ〜〜だ!」としているような表情^{ひょうじょう}を見たことがありますか? この馬の「イ〜〜だ!」には、実は【フレーメン】という名前がついています。馬の上唇^{うわくちびる}には人間とはちがって、臭いを感じる細胞^{さいぼう}がたくさん集まった「鋤鼻器^{じょびき}」という「臭いを感じる器官^{きかん}」があるのです。初めて会った馬同士で臭いを確かめ合ったり、発情^{はつじょう}の時期^{じき}に見られることが多いこのフレーメンという行動ですが、珍しい臭いや初めての臭いを嗅いだときにも見ることができます。例えば人間が吸っているたばこのにおい、夏に人間が塗っている日焼け止めの臭いなんかも…。もし馬に「イ〜〜だ!」とフレーメンの行動をされたら、お馬さんは「なにになに? 君のにおい、はじめてかいだよ!」とか「あなた、とってもいいにおいがするね!」と言っているのかもしれないですね。(幸田郁代)



編集後記

今年は9月に入っても残暑が厳しい毎日ですが、いかがお過ごしでしょうか。

この夏は、帝京科学大学の学生15名が小須田牧場のファームステイ(大学としては、特別実習として単位に認定)に挑戦しました。最初から「必要なのは体力とやる気」と念を押していましたが、朝から夜遅くまでの慣れない作業、そしてこの暑さ、とても大変だったと思います。それでも何とか2週間を終えた学生たち、大学の授業だけでは得られない充実感や達成感を得るとともに、馬を通して自分を見つめる機会となったのではないのでしょうか。

また、ウマキャンプに参加していた子どもがボランティアデビューをするという嬉しい出来事もありました。梅花女子大学の集中講義の一環として乗馬体験を行った際、見本になってくれたり、説明をしてくれたり、とても頼もしかったです。また手伝いたいと言ってくれたので、これからの成長も楽しみです。少しずつでも続けていくことの大切さを実感しました。機会がありましたら、小須田牧場にいるミルクィにも会いに行ってみてください。(にんじん大歓迎! by ミルクィ)(峯崎 友香理)